

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2007-143182(P2007-143182A)

【公開日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2007-4120(P2007-4120)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 3/42 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/00 S

H 0 4 M 1/00 K

H 0 4 M 3/42 T

H 0 4 B 7/26 1 0 9 T

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着信の際に発信元を表示する表示部を有する無線電話機であって、

着信を検出すると、当該着信に発信側で入力されたデータが付加されているか否かを検出し、当該着信に前記発信側で入力されたデータが付加されていることを検出した場合には、着信処理中に、前記表示部に発信元を表示するとともに、前記発信側で入力されたデータに基づき文字列を表示する制御部を有することを特徴とする無線電話機。

【請求項 2】

着信の際に発信元を表示する表示部を有する無線電話機であって、

着信を検出すると、当該着信に発信側で入力されたデータが付加されているか否かを検出し、当該着信に前記発信側で入力されたデータが付加されていることを検出した場合には、着信処理中に、前記表示部に発信元を表示するとともに、前記発信側で入力されたデータに基づき文字列を表示し、前記発信側で入力されたデータが付加されている着信があった旨の着信履歴登録を行い、着信履歴を表示する際には、前記発信側で入力されたデータが付加されている着信があったことを示す表示を行う制御部を有することを特徴とする無線電話機。

【請求項 3】

電話番号帳を具備し、着信の際に発信元を表示する表示部を有する無線電話機であって、

着信を検出すると、当該着信に発信側で入力されたデータが付加されているか否かを検出するとともに、前記発信元が前記電話番号帳に登録されているか否かを検索し、当該着信に前記発信側で入力されたデータが付加されていることが検出され、前記発信元が前記電話番号帳に登録されていない場合には、着信処理中に、前記発信側で入力されたデータを表示せずに鳴音動作し、当該着信に前記発信側で入力されたデータが付加されていることが検出され、前記発信元が前記電話番号帳に登録されている場合には、着信処理中に、前記表示部に発信元を表示するとともに、前記発信側で入力されたデータに基づき文字列

を表示し、鳴音動作する制御部を有することを特徴とする無線電話機。